「ネット炎上」の痕跡は、一生涯 残り続ける

ネット上に

～あなたは、自分の未来に何を残すか～

沖縄県教育委員会

この人は何をしたのでしょうか?

ネット上には、
バイクの無免許運転や暴走行為が
学校にばれて、
退学になった等と書かれています。

本当でしょうか?

2013/11/01　22:44

今も ネット上に、こんな書込が残っています

投稿者がなぜ炎上したのか、退学になった理由、本当に退学になったのか など、真実は誰にもわかりません。

みなさんは

ネット情報の3つの特性を知って、自己防衛力を高めましょう！

残　る

一度拡散すると、100%の回収は絶対に不可能。コピー･保存が簡単にできるから。

広がる

SNSの繋がりは、ネット回線の繋がり。知らないところで、情報だけが無限に広がる！

増幅する

ネット情報は、良い感情も悪い感情も、“増幅”する。「ウソ」であっても、簡単に広がる！

4：名無しさん：2016/5/29（日）10:32:09.90 ID:xxxxxxxxx
見せるからまあそう急かすな

5：名無しさん：2016/5/29（日）10:40:05.50 ID:xxxxxxxxx
じゃあ貼るぞ

「自画撮り」　⇒　「リベンジポルノ」被害へ

児童虐待⇒逮捕

「バカッター」
↓
「バイトテロ」へ

「不快」・「迷惑行為」・「非行／犯罪」は
ネット上で炎上し、不特定多数から攻撃を
受け、次はあなたが被害者となるのです。

これらの、ネット上の不適切な動画が、

その人の人生に与えた影響とは・・・

退学処分

バイト先
、SNSで
炎上し、
あけく

推薦取消

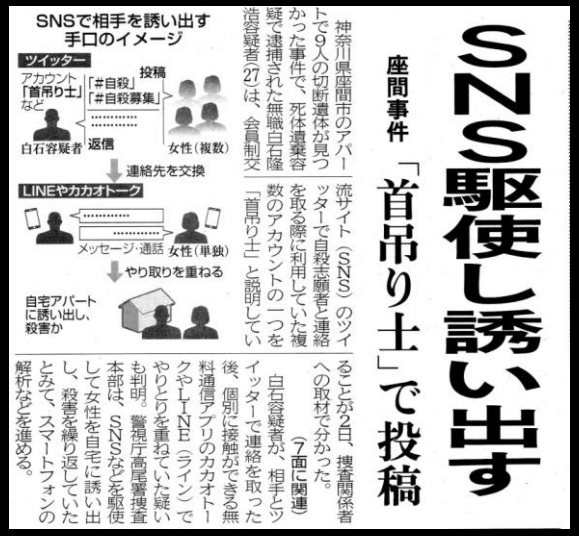
ネット炎上が、高校にバレて・・・

就職内定取消

ネット上で人物の評判
べる会社もあり・・・

婚約破棄

何年も前の、元の彼女とのキス写真を、
婚約者がネット上で見つけ・・・



SNSで相手を誘い出す
手口のイメージ

ツイッター
アカウント「首吊り士」など
白石容疑者
投稿「#自殺」「#自殺募集」
返信
女性（複数）
連絡先を交換
LINEやカカオトーク
メッセージ・通話
女性（単独）
やり取りを重ねる
自宅アパートに誘い出し、殺害か

SNS駆使し誘い出す

座間事件 「首吊り士」で投稿

神奈川県座間市のアパートで9人の切断遺体が見つかった事件で、死体遺棄容疑で逮捕された無職白石隆浩容疑者(27)は、会員制交流サイト（SNS）のツイッターで自殺志願者と連絡を取る際に利用していた複数のアカウントの一つを「首吊り士」と説明していることが2日、捜査関係者への取材で分かった。

（7面に関連）

白石容疑者が、相手とツイッターで連絡を取った後、個別に接触ができる無料通信アプリのカカオトークやLINE（ライン）でやりとりを重ねていた疑いも判明。警視庁高尾署捜査本部は、SNSなどを駆使して女性を自宅に誘い出し、殺害を繰り返していたとみて、スマートフォンの解析などを進める。

平成29年11月3日(金)　沖縄タイムス

18歳未満 SNS被害2.5倍

県内1～6月 児童買春など28人

今年1～6月に出会い系以外の会員制交流サイト（SNS）を利用し、県内で児童買春などの被害に遭った18歳未満の子どもは28人おり、昨年同期比の約2・5倍に上っていることが5日までに県警のまとめで分かった。うち中学生は4倍以上に増加。神奈川県座間市のアパートで9人の切断遺体が見つかった事件でも、被害女性らはツイッターなどを通して容疑者の男とつながったとされる。県警は「SNSの利用には十分注意してほしい」と呼び掛けている。

中学生は4倍超増加

内訳は中学生が昨年同期比13人増の17人、高校生6人、無職少年4人、有職少年1人。摘発件数は42件増の56件で、昨年1年間の50件を上回った。

罪種別では、県青少年保護育成条例違反が24件増の35件で最多。親の承諾を得ない深夜の連れ出しや、みだらな行為をさせたとして、指定暴力団旭琉會組員の男が逮捕された。

県警によると、チャット型の「ぎゃるる」やツイッター、フェイスブックなどを通じて知り合い、被害に遭うケースが多いという。

県警は「中学生のスマートフォン保有率の増加に伴い、被害に遭う子どもも増えている。関係機関と連携し、各校での被害防止講話などの対策を積極的に進める」と説明。「ネットで知り合った面識のない人とは容易に会わず、個人情報の公開も慎重に判断してほしい」と話している。

SNSを利用して被害にあった県内の子どもの数と摘発件数

平成29年11月6日(月)沖縄タイムス

神奈川県座間市のアパートで、９人の切断遺体が見つかった事件においても、

被疑者は、SNSを悪用して

被害者を誘い出していたということです。

女子高生3人被害か

容疑者が「自殺募り主」のアカウントで利用していたツイッターの画面。閲覧者の中に10代もいたとみられる

神奈川・座間9遺体

神奈川県座間市で9人の切断遺体が見つかった事件の被害者に、女子高生3人が含まれている可能性が浮上した。容疑者は「ツイッターを通じて知り合い、自宅に連れ込んだ」と供述。未成年の会員制交流サイト（SNS）利用の危うさが改めて浮き彫りになった。関係省庁は対応を模索するが、個別のやりとりに踏み込む難しさもあり、有効な手だては見えない。

（1面に関連）

未成年SNS危険拭えず

「もし自分が家族の立場だったら…」。9人の身元情報が浮上し、確認が続いた6日。捜査幹部は言葉を詰まらせた。捜査本部によると、遺留品などから福島、群馬、埼玉各県に住む15～17歳の女子高生が含まれている可能性がある。死体遺棄容疑で逮捕された白石隆浩容疑者（27）とツイッターでやりとりを続け、自宅に誘い込まれたとみられ、文部科学省職員も「事実であれば本当に痛ましい」とつぶやいた。

事件が発覚する約10日前の10月19日。警察庁の坂口正芳長官は記者会見でSNSに関し「憂慮すべき状況にある」と発言。未成年の利用を巡る危険性は各方面で指摘されていた。

警察庁によると、今年上半期（1～6月）にSNSをきっかけに犯罪被害に遭った18歳未満は全国で919人。統計を取り始めた2008年以降は増加傾向で、児童買春や児童ポルノを中心に強制わいせつ事件などに発展したケースもある。

被害者のうちツイッターを利用していたのは3割強にとどまる。捜査幹部は背景を「投稿する前は匿名でアカウントをつくることができ、『裏のアカウント』をいくつも持てる」と指摘。非公開のダイレクトメッセージで一対一のやりとりができることも、大人が介入しにくい要因とされる。

関係省庁や事業者も動き始めてはいる。文科省は学校で情報モラル教育に力を入れるよう学習指導要領に明記。今年の夏休み前には「ネット上での出会い」への注意を促すリーフレットを中高生に配布した。SNSなどの運営に携わる事業者は7月、警察庁の音頭で安全対策検討の協議会を発足。犯罪防止システムに関するノウハウの共有などを図り始めている。

ただ文科省職員は「一定程

ツイッター投稿 自殺助長禁止に

事件受け明文化

短文投稿サイト「ツイッター」を運営する米ツイッター社の日本法人は6日、神奈川県座間市のアパートで9人の切断遺体が見つかった事件を受け、「自殺や自傷行為の助長や扇動を禁じます」との項目をツイッターのルールに追加したと明らかにした。こうした投稿が見つかった場合は、削除を要請する方針という。日本法人は事件について「残念としか言いようがない」とコメントした。

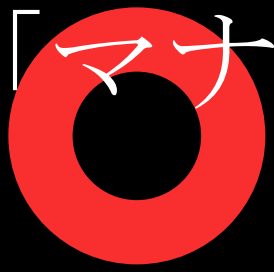
「SNSは、使い方を誤れば、凶器にもなる」

平成29年11月7日(火)　琉球新報

● ここがポイント ●

「ネット情報には、善と悪が混在する」

「見分ける力」が必要



「マナーをもってネットを使えば、
良い情報が集まってきます」

「マナーを無視してネットを使えば、
悪いことが自分に返ってきます」

こんなステキな「つながり」ができるのもSNSです。

平成28年4月　沖縄タイムス

手紙心つなぐ

無事の報 浦添商に

がまだすばい 頑張ろう熊本

【熊本県益城町で比嘉太一】「私は無事です」。熊本地震の前日、熊本県益城町の女性から浦添商業高校野球部員に手紙が送られていたことを知らせた沖縄タイムスの22日朝刊。差出人だった益城中学校1年の佐藤まいさん(13)は同日夜、「手紙の縁」が心をつないだ浦商ナインの記事を目にし、「うれしくて涙が出そう。家族みんな無事です」と電話で感謝を伝えた。

まいさんは先月、単身赴任で沖縄にいる父一男さんに会うため来沖。大好きな高校野球の大会があると知り、母めぐみさん(42)、妹れなさん(10)と沖縄セルラースタジアム那覇を訪れた。チケット販売所が分からずに右往左往していたところを、同校部員に声を掛けられた。忙しい中、脱帽し、丁寧な説明をしてくれた部員の対応に感動。熊本に帰って手紙を書いた。

その翌日、震度7の地震が発生。まいさん家族も2日間の避難生活を送った。

「タンスやピアノが倒れてきて怖かった」。今も余震に不安を抱え、昼間は家の後片付けを手伝っている。

22日、熊本で取材中の記者が宛先になっていた自宅を訪ねると、まいさんは笑顔で記事に目を通した。

その後、同校部員とテレビ電話で再会。「本当からの疲れがぶっ飛びました。お守りを付けて熊ら応援しています」とコリ。

母めぐみさんは「手紙がこんな形で返るとは思いもしなかっ元気をもらった」と感た。

浦添商業高校野球部の新聞記事を見て「うれしすぎる。ありがとう」と喜ぶ佐藤まいさん（右）と妹のれなさん＝22日、熊本県益城町

「疲れぶっ飛びました」

被災地の佐藤まいさんへテレビ電話でエールを送る浦添商業高校野球部員＝22日午後、同校

野球部員、佐藤さんにエール

「一緒に一つになって闘いましょう」テレビ電話

「一緒に一つになって闘いましょう」。浦添商業高校部員は、テレビ電話の画面に映る佐藤まいさんら家族に向け、力を込めた。練習後、宮高雅監督(47)からまいさん無事を聞いた部員たち。を取るすべもなく、心配らせる中、届いたうれしらせに全員が拍手で喜んだ話がつながると、後ろにだ部員たちは歓声を上げに笑顔になった。「佐藤元気ですか?」「手紙あとうございました」。興味の声があちこちから飛球場で案内した野原紘弥(16)は電話を受け取ると緊張した様子。「無事でったです」と帽子を取っを下げた。

「元気が出たと言ってよかった」と久高主将は必ず甲子園に行くのする姿を見てほしい」。離れた被災地へ「ちばりよと拳を上げ、エールを送っ

沖縄観光に来た熊本の中学生

↓

高校野球を観戦。球場係の高校球児のマナーに感動し、熊本から「お礼と応援の手紙」を送った。

↓

平成28年4月、熊本大地震　発生

↓

手紙を受け取った野球部員たちが、その中学生（佐藤さん）の安否を気遣う記事が新聞に掲載。

↓

報道関係者等の力も借りて、熊本の女の子の無事をSNSで確認。

↓

遠く離れた熊本にいる彼女たちと、テレビ電話（SNS）で「再会」し、お互いにエールを送りあった。